



Megaptera

発行；小笠原ホエールウォッチング協会 東京都小笠原村父島字西町 04998-2-3215 (FAX兼用) メガプテラ=ギリシャ語で「大きなヒレ」



↑ 父島：扇浦でのポールウィンターミニコンサート

← 母島：小中学校体育館にて花束を受けとったロジャー氏とポール氏

「自然は素晴らしいね。ぼくらのちっちゃな青い星の、きれいな水と空気を守りたい。」と語り、人間と自然のハーモニーを奏でる音楽家、ポール・ウィンター氏のミニコンサートと、三月に放映されたTV番組「海からの贈りもの」にも出演した、クジラの歌

鯨ー大いなる生命との対話
ポールウィンター氏、
ロジャー・ペイン氏来島講演

「自然は素晴らしいね。ぼくらのちっちゃな青い星の、きれいな水と空気を守りたい。」と語り、人間と自然のハーモニーを奏でる音楽家、ポール・ウィンター氏のミニコンサートと、三月に放映されたTV番組「海からの贈りもの」にも出演した、クジラの歌

声の研究者であるロジャー・ペイン博士の講演会が、ここ小笠原でもホエールウォッチング協会主催で行なわれた。今回で三度目の来日となったポール氏の父島、扇浦でのコンサートは、海と夕日を背景に砂浜で演奏するという、ユニークなものになった。

ロジャー博士の録音したザトウクジラの神秘的な歌に感動したポール氏が、その歌声に控えめにソプラノ・サクソフォーンをのせたという曲「鯨は泣かない」の美しいメロディーには、足にはりついて蚊をたたくことも忘れて聞き入った方も多いと思う。また、KAKAとの共演もおもしろかった。

一息ついたところで、ロジャー博士のクジラや地球環境についての講演がビクターセンターで行なわれた。

捕鯨そのものより、刺し網等によるクジラたち海洋生物の「ムダ死」の被害の方がはるかに深刻だということや、水も空気も土も汚染が進んでいることを聞くと、冒頭のポール氏の言葉が切実となって浮かんできた。

翌二十二日母島小中学校体育館での両氏の講演には、島の人口の約四分の一にあたる百人もの村民が訪れ、関心の高さがうかがえた。

おりしもその日は父島沿岸で、ザトウクジラの五頭の群れが見えたと聞き、きつと両氏の講演を、クジラたちも聞いていたのだろう。